



えー、寒い日が続きますが、皆さま体調など崩されていないでしょうか。

1月でも平均気温が5℃程度の名古屋出身の私・藤原は、朝起きて冷たいスプレー缶に手がくつきそうになって焦り、今年3月の藤里町に来たばかりの頃、ストーブの室内気温表示がマイナス10℃で驚いたことを思い出しました。

毎日本当に寒いですね。町内の皆さまは「まだまだ

序の口」と言われるので覚悟しなくては……と思っています。

さて今回は、そんなヒートテックと裏起毛タイツが欠かせない私の関心のマト「あったかく過ごすためにできるコト」を藤琴商店街で探してみました。ちょっと違うものも混ざっていますが、多少のことはご愛嬌！

取材にご協力くださったお店の皆さま、どうもありがとうございました！



《発行》  
地域おこし協力隊は、「かもや堂」から12月で引越します。

## 商店街で聞きました 防寒オススメ商品！



### (株)寝具のさいとう

エベレストも行ける肌着「ひだまり」。リピーターが多いのも納得の生地の温かさ(7000円～)。



### サトウ洋品店

寝る時も肩あったか「肩かけ」(1000円～)。よく売れるのは、分厚い靴下だとか(2足580円～)。



### 石川餅店

この時期は新米の手作りきりたんぼ。2、3本の少ない数でも願ひできます(1本110円～)。



### 菊池精肉店

きりたんぼ鍋にはコレ！の「五穀味鶏」。遠方から買いにくるお客さんも(100g150円)。



### 浅利酒店

寒いなら酒……白神山地ワイン(1980円)。今年は葡萄が豊作で、ワインも多くできたそうです。



### カマタ写真店

白神山地ミニコレクションには、早朝の樹氷など、歴史と風情のあふれる写真も。寒っ!!(閲覧無料)



### 藤田呉服店

呉服店のいちおしは、愛知発祥『ココイチ』のレトルトカレー(258円～)。お孫さんが店長なのです。



### トレビアン食堂

ボリューム満点、その名も「ぬくだまる」(700円)。鍋焼きうどんに香辛料たっぷり、汗出ます。



### 斎長商店

越冬用に「つけもと」(130円)。別名『魔法の粉』……漬物の素です。漬けたいものにまぶすだけ！



### (株)浅利電器

ピッカピカの鍋は銅製。これで山菜を茹でると青色になるそうです。出番はまだ先か!? (約1万円)

## 石橋談義

▼6月の本欄でも取り上げたが、国の創生会議資料によると、2040年の藤里町の推計人口は1577人になるといふ。現在より二千人も減少するショックな数字に慌てた訳ではないだろうが、このところ町づくり対策に躍起だ。人口流失問題は全国的な潮流だから、わが町だけの現象ではないが、過去の対策に多少の甘さがあったから減少率全県ワーストワンになったことも確かだ▼それでは今後この激流をどう食い止めるかだが、町当局としても町民会議などを立ち上げ、その対策に取り組ん

でいることだろう。ただ、その対策は過去のような抽象的なものではない。例えば1577人の想定数を覆すためには、月別年度別などで目標数値を明確に公表し、町民総ぐるみの体制が必要だ▼いま町で深刻な問題は老後だ。特養やグループホームなどへ入所したくても施設不足で町外待機者が結構多い。一般的なことだが介護施設増設、拡充を図り、更に都会からの「ふるさと回帰」を含めて落ち込んだ人口を取り戻すことが先決だ▼当然そこに財源や雇用問題が絡むことになるが、補助金や町債、篤志者の投資など知恵と工夫で克服が必至だ。介護施設等の充実、拡大はそれに付随する産業が多種で、町の総合戦略にも波及し、期待は大きい。(F)

## 意外と簡単!? 予約型乗合タクシー 「駒わりくん」



- 0. 利用方法を確認します。**  
「駒わりくんって何?」という方は、『ねまるベース』(080-1800-7011)でスタッフさんに尋ねてみましょう。
- 1. タクシー会社に電話します。**  
二ツ井観光タクシー(0185-73-2211)に電話します。必ず伝えるのはタクシーではなく「こまわりくん」を利用したいこと。あとは乗るバス停、行きたい場所・時間を指定します。
- 2. 指定したバス停、指定した時間にタクシーが来ます。**
- 3. あとは乗るだけ。1回200円。(高齢者無料バス券をお持ちの方は100円。未就学児は無料。)**  
メーターがぐんぐん回って心配になりますが、200円で大丈夫です!

# 不思議が出てくる 耳袋



画像はイメージです。

## 「ひかるもの」

Iさんのおばあさんは、大沢地区の出身です。おばあさんが若い頃、外出先での用事が思ったより長引き、帰宅が遅くなってしまったことがありました。真っ暗な中、心細く感じながら家路を急いでいると、道の先でゆらゆらと赤い光が揺れていました。何だろうと思って近づいていくと、光が揺れているのは知人の家の前で、光っているのは真っ赤なキツネの顔でした。おばあさんは怖くなって、急いで自宅に駆け込んだそうです。

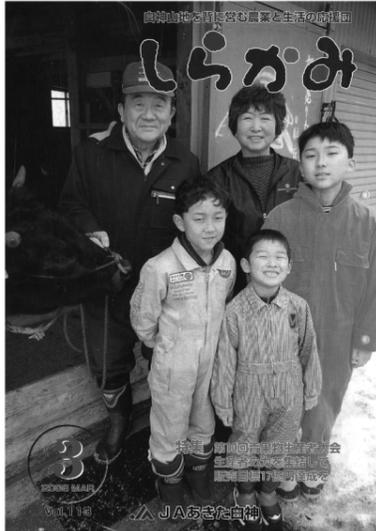
翌朝になり、その家のお爺さんが昨晚亡くなったと知らせを受けました。「なしてキツネの顔だったんだべな」と、おばあさんは今でも不思議に思っています。(エヌ)

## とんじこんじ抄

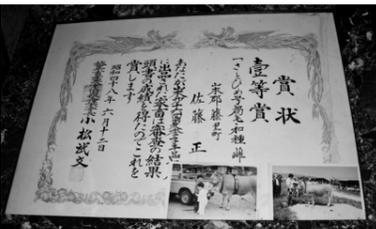
長生きの秘訣は明るく、くよくよしないこととテレビで見ました。明るいアクション、藤里が持続する秘訣は、そんなところにあるのでは。それでも毎日忙しく、真の充足は得たいがなかなか動けないものです。そんな時の解決法は、目標をもち少しでも動くことだそうです。師走に明るい目標探しはいかがでしょう。(シャケ)

### 編集後記

小学生の頃、「寒い」って言ったら負け、という遊びがありました。今もあるかな？(藤原)



JA『しらかみ』の表紙に載ったことも。



品評会最初の一等賞「さとひめ号」。

## 聞き書き 第8回

寺屋敷・佐藤正さん



# 牛もカラオケも、おもしろいよ。

### 寺屋敷の青年と池田隼人

私は昭和14年、寺屋敷の「たごえもんの家」で佐藤家の五人兄弟の三男坊として生まれましました。中学校終わって、働きのながら青年会やったりしていたんだけど、池田隼人が、長男は家について仕事せど、次男・三男は東京にいで仕事せど、と言うのニューズで聞いて、これは田舎で百姓するのはダメだと東京に行った。この町良くなりたいって残ったのに、シヨックだったよ。東京では、沖電気に勤めて、関東いろんなところに行った。だけでも社長が亡くなって、新しい社長はおなご癖悪くて、ここには会社潰れると思って、2年いて帰ってきた。

### 農協と、好きな電器の仕事

当時は肥料など運ぶのに、馬車とか馬そりで各農家が農協まで取りに行っていた。二ツ井の三國商店では、もう配達してたら、農協でも車買えばいいんでねがって専務さんに話したら、「佐藤君、本当に運転手に来るか？新車を買う予定があるから来いだよあ」って。それで昭和37年、

23歳で農協に入った。トラックの運転手なって、運転免許証まだ誰も持っていない時、大型免許取った。

それから購買に異動。「マヨネーズ、マッチ、マカロニ」って売ったり、その後洗濯機、冷蔵庫、テレビの三種の神器。昭和40年代かな。「いやーあのづきおもしろかったな」って、当時の課長と今も話すよ。「なして俺の家に冷蔵庫持ってこねったが。俺の家お金ねって思ってるんだが」って問い合わせあったり、「今日もう他で10台つけて明日になりませう」って説明したり。メーカーも日立って人、ナショナルって人。町の電器屋さんもどっちを扱うかで分かれてた。村岡電機さん、浅利電器さんと競争だ。すごい時代だった。やっぱりテレビが忙しかったよ。アンテナも立てねばならねし。修理もできねばって東京で白黒テレビの講習受けて、今度はまたカラーだ。試験、また試験。真空管、テレビの型で全部暗記して。やればできるもんだ。電器好きだったから、好きな仕事だった。

### 牛と一緒の40年

結婚は25歳で、今年で51年目だ。牛を飼いだしたのは、やっぱり東京より給料安いし、子供養って行くには何とかしない

とって思った30歳から。親戚の家畜商が、「正、ベコ安くてや」って言ったから、雄牛2頭買ってきてって頼んだのが最初。2頭で7万円、11月だった。それしたら12月には別の家畜商来て、1頭7万円で売らねがって。これから大きくして楽しもうと思つてたから、春まで飼いたいつて断つた。それが、次の4月には1頭35万円、2頭で70万円で売れた。こーって(驚き)。牛ってこんないいもの、農家の人なしてやらねがって(笑)。

元々動物好きだったし、牛は4頭の胃袋あるから、エサやりは2回でもいいよ。うつとあげれば1回でもいいよ。下にはもみ殻敷けば喜ぶ。俺とかーちゃんの車の音聞き分けて、俺帰つてくれば鳴くんだよ。セリに行けば子供だ、「お金、お金ちよーだ」ってのはしゃいだもんだ(笑)。ポーンナスより牛の収入の方が多かった。職場に特級酒差し入れたこともあったよ。退職してからぶわつと増やして、一番多い時で、親牛7頭か8頭、仔牛入れて全部で12、13頭かな。数年前病気になるまで飼ってたよ。

### 病氣、仲間の支え、カラオケ!

俺は、脳梗塞なって、喋れなくなつた時あった。それ苦しんで、今度は胃潰瘍なって、暗く

なつたし、新聞もテレビも見なくなつて、鬱だつて。前の町長同級だから、「町長は町民を助ける立場だべ」って言ったから「あだは心の病だ。あんまり苦にするな。別の医者行け」って。そうしてるうちに自分でも、乗り越えるがなって思つて、カラオケさ行つたら、まーおもしろいものな。藤里カラオケクラブ。明るい気持ちになれた。今では人も誘うけど、みんなが喜ぶよ。他には老人クラブの白神山地いちようクラブ。たんぼ会や旅行、中通のことやいろいろ話して、仲間が集まるのもいいよ。自分の好きなことやれて良かったな。藤里町は、昔は稲と畜産。町長も役場も一本なつてやつてきた。あと気になるのは、今結婚しないでいる人多いべ。昔は、30才前に3組結婚させねば一人前でねって言った。俺は7組まとめて、結婚式の司会は20組。これから、町会議員1人1年に1組。っていうのはどうかな(笑)。

結婚と言え、東京オリピックの年に結婚したから、2020年も元気でかーちゃんが見たいなあ。(聞き手・布川) さとう・ただしさん●昭和14年寺屋敷生まれ。JAに勤務の傍ら、最初は褐毛和種、後に黒毛和牛の肥育・繁殖を行い、表彰経験も多い。趣味カラオケ。